

公金のクレジットカード

決済について

山崎 幸子 議員

質問 公金クレジット決済を導入することによる納税者のメリットとしては、納税方法の選択肢が増える・支払回数を納税者の都合で選べる・カード会社のポイントが獲得できる。行政側のメリットとしては、収納率のアップ・滞納整理事務の簡素化・コスト削減等のメリットがあります。本村でも公金クレジット決済導入に取り組んでいただけたかどうかお伺いします。

答弁(総務部長) クレジットカード決済の導入につきましては、納付手段の多様化による住民サービスの向上や、カード会社からの立替払いとなるため、確実な入金期待できることから、収納率が向上するというメ

リットがあるわけですが、利用料の自治体負担やカード情報の管理体制などが課題となります。税以外の保育料・上下水道料金等の支払い、そして、住民の要望や費用対効果等を総合的に勘案し、検討してまいりたいと考えております。

質問 三重県玉城町を例にあげますと、この町では口座振替が全体の税納付のうち4分の3くらいあったが、そのうちの3・5から6%は、通帳の残高不足で振替ができず、不納となっていました。

不納が起これると、督促状況等の事務経費が発生します。これに対し、公金クレジットカード決済は、クレジット会社からの「立替

払い」であるため、確実な入金期待でき、滞納も減少します。このことから、手数料等のランニングコスト分を差し引いても、クレジットカード決済を導入したほうが効果は大きいとのこと、玉城町ではクレジットカード決済を導入しました。その結果、収納率がアップしたそうです。

あるシンクタンクの研究によると、公金クレジットカード決済を導入すると全体的には「コスト減」との研究結果もあるようです。ぜひ導入に向けて研究調査することを要望いたします。公金クレジットカード決済について、村長の見解をお伺いします。

答弁(村長) 本村の徴収率は、以前は44市町村のうち、下から数えたほうが早いぐらいの低いところでしたが、ここ4〜5年かけて大分改善され、今では茨城県

ります。

しかし、今の世の中の経済状況で、納付が完全に実施できていないという部分もございます。これからは、納税者の中でもカードを使用する方が多くなってくるでしょう。

県内では、現在6自治体がクレジットカード決済を導入しております。今後、県内でもさらに導入されていくだろうと思います。

美浦村でも、イニシャルコスト・ランニングコストも含めて、いつごろ対応できるか早急に検討に入りたいと思います。

